

ACDSee Pro 3 チュートリアル:「ライティング」ツールを使用する

1 画像を開く

2 画像を自動調整する

3 画像上で調整する

4 クイック調整

5 まとめ

ACDSee Pro 3 では、以前の「シャドウ&ハイライト」のツール名が「ライティング」と呼ばれるようになりました。「ライティング」ツールでは、ピクセルの平均的な明るさとその周辺にあるピクセルを「トーンレベル」と呼び、画像の暗すぎるトーンレベルを明るくしたり、逆に明るすぎるトーンレベルを暗くしたりすることが可能です。トーンレベルが暗すぎる写真の例として、晴天の日に雪を背景に撮影した人物の顔が暗くなってしまう写真などが挙げられます。「ライティング」ツールを使用すれば、曇天の日やフラッシュ発光で撮影された写真、逆光で撮影された写真などのトーンレベルを補正することができます。ここでは、「自動」ボタンを使ってクイック調整する方法と画像上で微調整する方法について説明します。

管理モードで画像を選択し、[処理] をクリックします。

[+] をクリックして「ライティング」ツールを展開します。
[モード] ドロップダウンリストから、[アドバンス] を選択します。



ACDSee Pro 3 チュートリアル:「ライティング」ツールを使用する

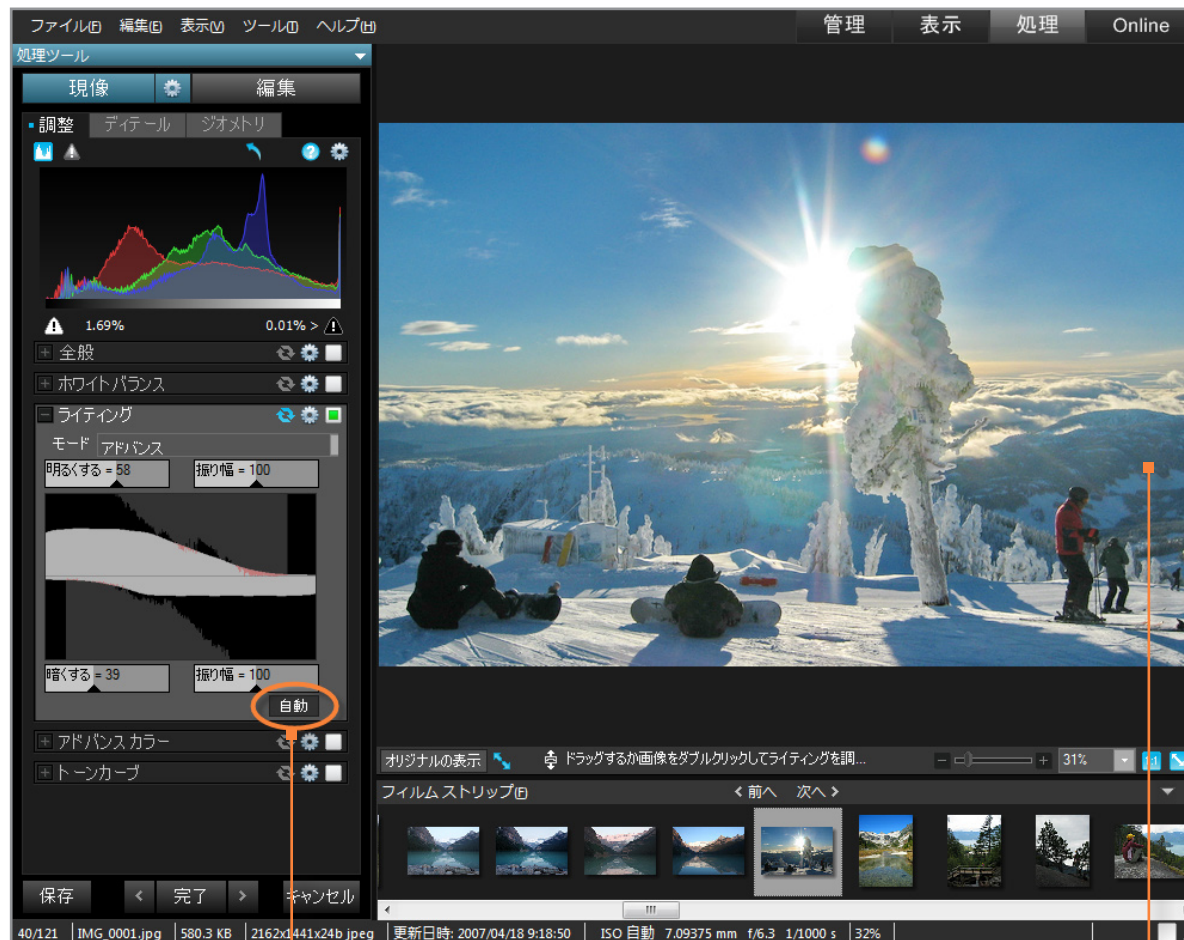
1 画像を開く

2 画像を自動調整する

3 画像上で調整する

4 クイック調整

まとめ



[自動] をクリックして、トーンレベルを自動調整します。

画像の暗すぎる領域または明るすぎる領域が自動調整されて表示されます。上の写真では、暗い領域の詳細を確認することができます。

ACDSee Pro 3 チュートリアル:「ライティング」ツールを使用する

1 画像を開く

2 画像を自動調整する

3 画像上で調整する

4 クイック調整

5 まとめ

グラフの上部は明るさを、下部は暗さを表します。

トーンレベルは、左に「シャドウ」、中央に「中間調」、右に「ハイライト」が表示されています。

グラフのライトグレーの領域は、画像に適用された明るさまたは暗さの量を表します。グラフのダークグレーの領域は、推奨する境界です。この領域が赤色になると、調整のし過ぎによりディテールが失われてしまったことを意味します。画像上にカーソルを合わせると、トーンレベルの中央を意味する2つの黄色の垂直線が表示されます。それを中心に上下にトーンレベルの調整を行います。

明るくまたは暗くしたい画像の領域にカーソルを合わせます。マウスポインタが双方向矢印に変わります。明るさを調整するには、マウスを左クリックし上下にドラッグします。暗さを調整するには、マウスを右クリックし上下にドラッグします。明るさと暗さの両方を調整することで、相殺を防ぐことができだけでなく、コントラストを高めることができます。このコントラストによって、HDR（ハイダイナミックレンジ）効果を生み出すことができます。



ACDSee Pro 3 チュートリアル:「ライティング」ツールを使用する

1
画像を開く

2
画像を自動調整する

3
画像上で調整する

4
クイック調整

5
まとめ

クイック調整をするには、次の操作を行います。

- **画像上でマウスホイールを上下にスクロール:** 画像のトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。<Shift> キーをホールドしながらマウスホイールをスクロールすることでも、暗さを同様に調整することができます。
- **マウスの左ボタンをダブルクリック:** 画像上で選択した領域に対して最適な明るさの値を自動設定します。顔などの明るい領域などに効果的です。
- **マウスの右ボタンをダブルクリック:** 画像上で選択した領域に対して最適な暗さの値を自動設定します。
- **<CTRL> キー + マウスの左ボタンをダブルクリック:** トーンレベルの周りにある明るさの量を増やし、それ以外の画像領域を暗くします。この方法は、特定の被写体を素早く明るくしたい場合や浮き立たせたい場合に使用します。

「ライティング」ツールを使ったクイック調整のワンポイントについては、[ヘルプ]メニューから [ヘルプを開く] をクリックし、処理モード > 現像する > 画像を調整する、の順にクリックし「ライティングを調整する」をご覧ください。

ACDSee Pro 3 チュートリアル:「ライティング」ツールを使用する

1
画像を開く

2
画像を自動調整する

3
画像上で調整する

4
クイック調整

5
まとめ

このチュートリアルでは、下記のポイントについて解説しました:

- » トーンレベルとは、ピクセルの明るさとその周辺のピクセルを平均したものです。
- » 「ライティング」ツールを使用して、画像のトーンレベルの明暗を調整することができます。
- » [アドバンス] モードの [自動] ボタンを使用して、画像を自動調整することができます。
- » 画像上にカーソルを合わせるだけで、クイック調整を行うことができます。
- » 調整と同時にグラフも更新され、画像の暗い領域と明るい領域がどのように調整されたかを素早く確認することができます。グラフ内で示される赤い領域は、調整によってディテールが失われてしまったことを表しています。